

～育てたい資質・能力(めざす子ども像)～

- 1位数と1位数の加法で、和が11以上になる計算ができる。(知識・技能)
- 加法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりすることができる。(思考・判断・表現)
- 数量の関係に着目し、計算の仕方や意味を考え、生活に生かそうとしている。  
(主体的に学習に向かう態度)

<評価の方法>

- ・授業内でのノートへの書き込み
- ・発表の様子
- ・プリントの練習問題

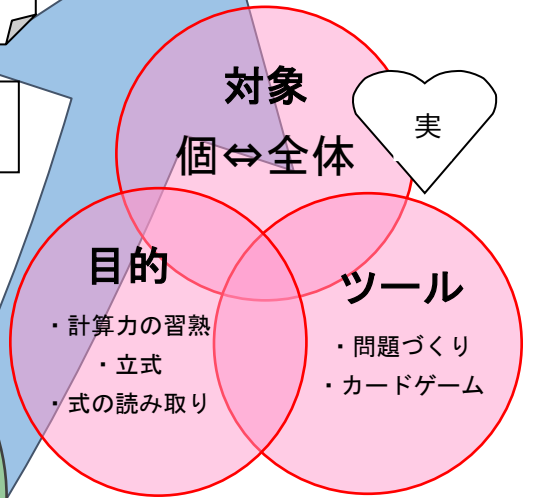
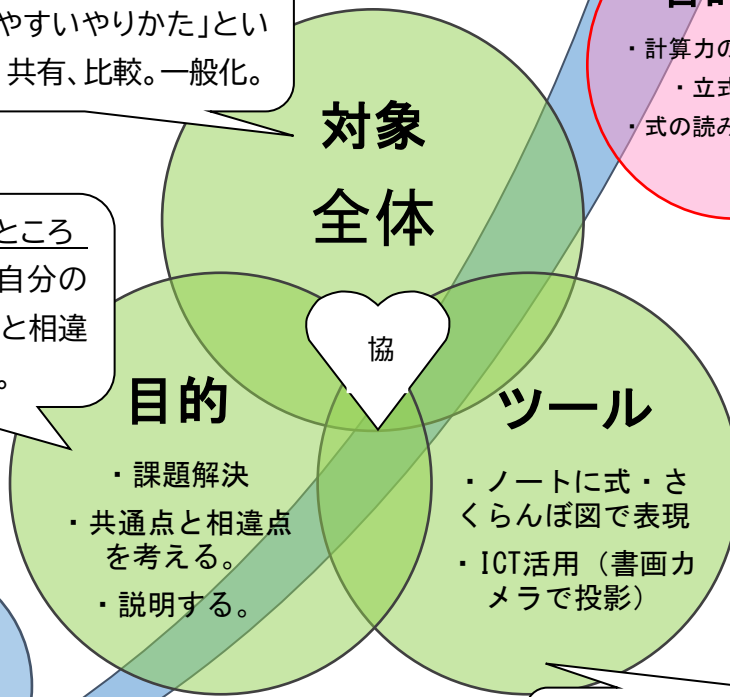
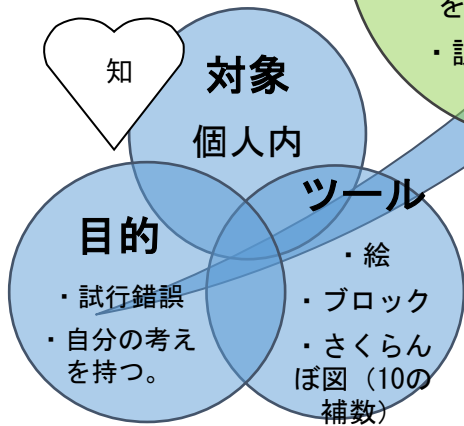
単元目標の達成

本時の重点ポイント3つ

**1** ◎個 対 全体  
・「わかりやすいやりかた」という視点で、共有、比較。一般化。

**2** ◎違うところ・同じところ  
・いくつかの考えと自分の考えを比べて共通点と相違点から考えを深める。

**3** ◎わかりやすさを考えるために  
・さくらんぼ図の比較



必然性のある学習課題設定の工夫

◎おはなしを よんで、今までより 大きい かずになる(10 をこえる) たしざんができるようになる。  
(式を書いて、計算することそのものが「やりたいこと」になる段階)